令和２年度　　研究目標と内容

１　研究目標

・自分の命を守り切る力【行動力】
・知識を備え正しく判断する力【知識・判断】
・地域社会に貢献する心【心(態度)】

の育成

児童一人ひとりが、自分の命を守り切ることができるようにする。

２　研究内容

○地域と連携した防災学習の確立
・参観日等を活用して地域と連携した防災学習の実践を確立する
（※防災の視点から見ると、本校は地域との連携に課題があるため）

○年間１人１研究授業
・全校研：防災学習公開授業（２回）－（教材研究会・授業研究会）×２
・英語教育拠点校事業（外国語全校研）：１回
・ブロック研：学級担任は防災（※初任者、２年次は研修教科)、専科担当は専科教科

○資質・能力ベイスの授業づくり
・単元の構成等も意識した資質・能力ベイスの授業展開を考える
・必然性のある対話、振り返り（適用問題・算数日記）の確保
・発言やつぶやきをつなげて、広げる教師の発問・働きかけの工夫・改善
・総合、生活科を中心とした防災に特化した学習と、教科横断的な防災学習を確立する

○組織的ＯＪＴと全員メンター制の拡充
・学力調査の分析や、各手引き等の見直しは学年・ブロック会で行う
・若年教員の授業を管理職・級外だけでなく、該当学年・ブロックの教員も参観し、学び合う
・ノート指導の徹底（初任研・年次研等を活用しながら他の教員からノート指導を学ぶ)

３　今年度目指す児童の姿

	低学年	中学年	高学年
生きて働く「知識・技能」の習得	命を守るための行動の必要性が分かる。	自分の住む地域の地震での被害予測を認識している。	地震のメカニズムを知り、地震が発生したらどうなるか予測することができる。
道の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成	地震・災害の発生時に、命を守るための行動ができる。	危険な場所を予測して行動することができる。	地震に対して防災や減災に目を向け、事前に備えることができる。
学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養	防災新聞（2 年生）を通して学校の友達と、地震に対する事前の備えを伝え合うことができる。	防災マップ(3 年生)・防災新聞(4 年生)で発信し、学校の友達や家庭に、地震に対する事前の備えを発信することができる。	防災新聞（5 年生)・防災 DVD を作成し、家庭や地域に、地震に対する事前の備えを啓発・発信することができる。